

馬場記念病院 循環器科 後期臨床研修プログラム

1. 研修方式 ストレート

2. 到達目標

- (1) 後期研修では、専門として循環器内科をめざす医師に対して、総合的な循環器内科の基礎力を習得すること
- (2) 内科学会認定医取得の後、循環器専門医を取得することを目指す。

3. 指導体制

研修責任者：部長 山下 啓

4. 年次別循環器科研修カリキュラム

(1) 1年次 (循環器専門医研修プログラムⅠ)

まず基本的に医師としての姿勢、倫理観やコミュニケーション能力を身に付けられるよう、指導医と共に研修する。また、循環器科の幅広い疾患（虚血、心不全、不整脈など）を、バランス良く担当させることで、さらなる専門性を高める。同時に、救急医療も経験させ、適切な手技、薬物治療の習熟を獲得させる。

目標： 心肺蘇生術の適切な実施

循環器救急疾患に対する初期治療の習得

循環器科の基本的検査の習得（運動負荷試験、心筋シンチ、エコー）

侵襲的検査（カテーテル）の実技指導。能力の習得が得られれば、インターベンションやアブレーションへ段階をすすめる

中心静脈カテーテル、動脈ライン、IABP、PCPSなど手技の習得

ペースメーカー留置などの手術の習得

学会・研究会での症例報告発表

(2) 2、3年次 (循環器専門医研修プログラムⅡ)

上級医の指導の下、入院患者を担当する。インターベンションやアブレーションなどの治療が、的確な判断と手技においてできるように確立する。夜間の緊急的な手術にも対応できるようにする。

目標： 急性期循環器疾患の診断と治療

虚血に対するインターベンション

末梢血管へのインターベンション

不整脈治療としてのアブレーション。基本的事項が習得できれば、心房細動への

アブレーションへすすむ

内科学会認定医取得

学会・研究会での発表
症例報告や自主研究での論文発表
海外での研究発表

5. 認定施設

日本内科学会認定教育関連病院
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設